

Channel MORIOKA

アマチュア無線盛岡クラブ

SINCE 1949

平成 14 年 1 月号

ホームページ <http://member.nifty.ne.jp/ja7yce/>



新年あけましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い申し上げます。

新春を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。当クラブにおきましては、ここ 2 ~ 3 年は 50 周年やら特別局の設置・運用やらと、何かと忙しい状況が続いていましたが、昨年はそういった行事も一段落し、比較的落ち着いた一年ではなかったかと思えます。とは言うものの、JARL 岩手県支部大会および前夜祭は当クラブがホストクラブということでしたので、その準備に取りかかる必要がありました。「JARL の先行きが不透明な中、支部大会も最後になるかもしれないから、それに相応しいように頼みます」と支部長からプレッシャーをかけられましたが、7 月に安比高原で開催いたしました。準備段階から会員の皆さんの多大なご協力を頂き、また当日は大勢参加してもらって無事成功裏に終了することができました。心から感謝申し上げます。

コンテストにおいてはコンテスター各位の活躍により、地域クラブ対抗部門全国順位で、ALLJA-1 位、JARL 岩手県支部大会と重なった 6m&Down では 39 位と奮わなかったものの、フィールドデー-2 位、全市全郡-6 位という堂々たる成績を挙げ、折爪岳から JA7YCE/7 で参加したフィールドデーコンテストでは全国 5 位入賞を果たしました。更に特筆すべきことは、昨年入会された JO7BJH 佐々木 潤さんが ALLJA、6m&Down、フィールドデー、全市全郡という JARL 4 大メジャーコンテストすべてのニューカマー部門で 1 位というグランドスラムを成し遂げたことでしょう。ややもすると熟年パワーに頼りがちだった当クラブにとっては頼もしい限りで、今後ますますの活躍が期待されるところです。

さて、昨今のインターネットと電子メールの普及にはめざましいものがあり、当クラブでのクラブニュースのメール配信もやっと軌道に乗ってきたところですが、年末に猛威を振るったウィルスによって図らずもその弱点をさらけ出してしまったのではないのでしょうか。特にメーリングリストに加入していたりすると、アッという間に広範囲に感染してしまうので注意が必要です。今まではウィルス騒ぎがあってもあまり身近な問題としてはとらえていませんでしたが、今回当クラブの ML にもウ

ルスが侵入してきたことで、初めて現実の問題として認識した次第です。電子メールは便利なものとしてこれだけ普及した一方で、ウィルスに対する認識が甘い人達(私もその一人ですが...)があまりにも多く、常に対策を怠らず、アンチウィルスソフトで監視しているという人達はほんの僅かというのが現実だと思います。現にあれだけ騒がれたにもかかわらず、私の所には今でも週に 1 通位ウィルス付きのメールが来ていますが、自分の所に来たウィルスは自分で処分し、外部へ漏らさないようにと努めております。ADSL や CATV 等ブロードバンドによる常時接続は今後ますます普及すると思いますが、それにつれてウィルスによる攻撃度も増すと思われるので、それに対する備えも怠らないようにしたいものです。

私は相変わらず電信と電話のみなのですが、アマチュア無線には PC を駆使した SSTV や PSK 等様々な分野がありますので、皆様それぞれに未永く無線を楽しめますことをご期待申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

DE JA7JHT

新年会のご案内

今年も新年会を次の通り開催しますので、多数ご参加下さい。

日 時	平成14年1月26日(土)
	午後6時30分(午後6時より受付)
場 所	労働福祉会館 (大沢川原2-2-32) TEL.653-8111
会 費	5000円

恒例のオークションを行いますので、多数お持ち寄り下さい。

出欠のご返事を1月23日必着で同封のハガキにてお知らせ下さい。

(メールの方は ja7jht@jarl.com 宛お願いします)

今月は定例ミーティングを行いません。

クラブニュースのメール配信

現在、クラブニュースは従来の郵送による他、ホームページにも pdf ファイルを載せております。写真等の情報はホームページから取得できるようにしてありますので、メールによる配信を希望した方にはテキスト文書をメールにより配信するのみとしております。ホームページの方は当初は不具合もありましたが、今では安定した状態になっていて 2001 年 6 月号以降のクラブニュースを掲載してあります。

現在は ML 加入の有無にかかわらず、事務局でメールアドレスを把握している方全員にテキストクラブニュースのメール配信を行っていますが、メールによる配信を希望した方以外には紙のクラブニュースも送付しております。そこで、もはや紙のニュースは必要ないという方がおりましたならその旨 ja7jht@jarl.com までご連絡をお願い致します。

全市全郡コンテスト結果

10月に行われた全市全郡コンテストの結果が発表されました。

入賞 電信 14MHz-Low Power JA7CQ 中村さん 12,091 7エリア1位
電信電話ニューカマー JO7BJH/7 佐々木さん 7,500 7エリア1位

その他、JA7DLE 佐野さんはマルチバンド-CW-HiPower 部門で得点的には全国6位でしたが残念ながら他の7エリア局が1位で入賞しており、今回は惜しくも入賞を逃してしまいました。

クラブ対抗の地域クラブ部門では、6位となっております。皆さん、お疲れさまでした。

1KW変更検査体験記

10月30日、1KWの変更検査に無事合格しました。その昔、大OMのシャックで見た真空管の残像が消えず、リタイヤ後は過疎地に移りハイパワーで無線をやろうと心に決めていました。

幸い県南のリッチなDXerの棚卸でボロと注釈付きのTL-922を手に入れたのを機会に本気で準備にかかりました。退職した年に購入した築20年の家の温室に床を張り、通線口を作りシャックとしました。単相2線20Aを単3の50Aに契約更新し、シャックに200Vを配線。念のためJARLのHPから電波環境の確認方法をDLして計算しました。6月10日、余裕をみて500Wで申請書を提出しました。変更許可証が7月9日に到着、8月21日には工事完了届けを提出しました。

8月31日、連絡を待ちきれず電話を入れ検査日程を問い合わせ、10月末から11月始め頃との返事を得ましたが、正直言って待ちの長さががっかりしました。この頃になるとアンプの調整も進み、アイドリング電流の2倍位で500Wオーバーになり不自然なので1KWへの変更を決めました。変更申請中の変更申請はOKということで、9月12日に再び変更申請書を郵送しました。1週間ほどで許可証が着きましたが、TVIの調査票を書いていたお隣さんが不在で、10月13日にやっと完了届けを提出。検査当日までの？週間はI対策の日々でした。問題となりそうな距離に住んでいる2軒のお宅では問題ないので、あとは年に数度訪れる別荘にIが出たときのために我が家のセットで実習をしました。トロイダルコアやフィルター類(kwは高い)など馬鹿にできない金額と、現役時代では考えられない程の無駄な時間をつぎ込みました。

検査の3日程前に検査日時について確認。前日にはアンテナの高さやゲインについて質問の電話がありました。当日検査官は午後1時到着、ダミーロード、出力計と周波数カウンターを運び込み電源オン、測定器が安定するまでの間アンテナやアースのチェック。電波環境上、18メガのVダイポールの下端の地上高(4m)の低さや、4エレ八木が18mh/11dbで計算すると隣家が危険かと心配していましたが、問題なしと判定されました。ビームアンテナの場合は垂直面内指向性と俯角減衰度がわかっていないとタワーの足もともメインビーム方向も同じ数値で計算されるので大変なのです。

検査ではタワーを下から眺めてOK、現実には普通の隣家でははるかに電界は低いはずで、近くにビルなどがあった場合に問題になるそうです。アースはタワー単体で30オームあったのを気にして銅パイプを打ち込んであったのが目にとまりOK、これは全く重要視してない様子でした。

シャックに入り周測と出力測定。アンプ単体は高調波が規格一杯なのでLPFを挿入、ついでに自分の出力計を較正したいのでシリーズに接続して貰いました。結果は7/14が1100w、18/21が850wで、周波数は+4ヘルツ。最後にIチェック、調査票をお願いしたお宅が留守なので、自宅のTVでチェックとなりました。アンテナがEU向きとき14メガでTVIが出るのでW向きにすることを忘れ、ばっちり見られてしまいました。「パワーを下げて」との指示で500Wで送信、問題なしの判定で終了。「14メガ1KW送信に際してはもう一度ご近所を確認して下さい」と口頭で指導がありましたが、判定は指示事項なしで合格でした。再免許は検査が無いようで、「お互いの無駄を省くためにも申請を忘れないように。期間前でも受け付けますよ」と念を押されました。

検査官を見送り、時計をみたら2時20分、思ったよりあっさり終了。ファンタスティックのレポートにはキロワットと正直に答えられる幸せを獲得しました。アンプをお持ちの方には是非ハイパワー免許を受ける事をお奨めします。

500Wの検査を受けたJA3の友人は、電波防護指針の計算値で28メガは許可にならなかったようですが、隣家での実測では基準をクリアしており、検査官は「許可してもよかったな」と謝ったそうです。基準オーバーの時点で取り止めることができるので、今後は全部申請したほうがよいと言っていました。ローバンドは5mロングのT2FDでOKだったそうです。

DE JA7EU

バンドプラン一部改正

総務省は国際宇宙ステーション(ISS)と国内のアマチュア無線局が音声通信(FM)をすることが出来るよう、12月18日(官報)「アマチュア業務に使用する電波の型式及び周波数の使用区別」の告示を改正しました。

これにより144.30 ~ 144.50MHzで、従来はFMによる交信は出来ませんでした。ISSとの交信に限ってFM(占有周波数帯幅40kHz以下のもの)での交信が可能となります。

(JARL-Webより引用)

編集後記

新年最初のChannel MORIOKAの編集は、PHSでインターネットにアクセスする事で無事終わりました。どこにいてもPHSの64Kbpsの快適環境でインターネットにアクセスする事が出来ます。でも64Kです。xDSLによる常時接続の早さと快適さに勝つことは出来ません。

昨年はインターネットの常時接続元年だったと思います。高速なADSL回線のサービス提供範囲が広がり、その恩恵を受けた人も多いと思います。今年は高速無線LANと光サービスの年となりそうです。無線LANでは30 ~ 55Mbpsの製品群の発売と、over100Mの製品の発表と、波乱の年になりそうです。

Channel MORIOKAは皆さんからの原稿で成り立っています。これだけは高速回線が出ようとも「勝手に」原稿が作られる訳ではありません。皆さんからの投稿によって成り立っています。何でも結構ですので、投稿頂ければ幸いです。

983-0841 仙台市宮城野区原町5-10-80 クレフォートメゾン A101

吉田光司 (JR7FBR)

TEL/FAX 022-291-5235 mail to:gef00241@nifty.com